

		学校教育計画				
教育方針		校訓「愛・敬・誠」を実践し、知・徳・体のバランスのとれた全人教育を行う。 「世のため人のために生きる」「最善を尽くす」「清く正しく生きる」心の育成。				
前年度の成果と課題		本年度の重点目標		本年度の具体的目標		全体評価
・生徒の経験値を上げるため外部との連携を密にし、各種講演会やワークショップを実施して興味関心を抱かせる取り組みができた。 ・コロナ5類移行後速やかに学校行事を復活させ、生徒の思い出作りに寄与できた。 ・部活動では選手の個性を大切に、県、四国、全国で好成績を挙げることができた。		1. 本校生としての誇りを持ち、自分の行動に責任がとれる生徒を育成する。 2. 学ぶ目標を持ち、その実現に努める生徒を育成する。 3. 社会に貢献できる生徒を育成する。		①気持ちの良い挨拶ができる生徒を育てる。 ②善悪の判断が正しくできる生徒を育てる。 ③規則がきちんと守れる生徒を育てる。 ④今もっている力を伸ばす。(鍛錬) ⑤新しいものに目を向けさせる。(挑戦) ⑥保護者との連携を密接にする。		
評価項目	本年度の主な活動目標		本年度の主な具体的方策		評価	次年度の改善策
教科 指導	国語	読書活動、漢字テストの活性化をはかる	国語科、図書運営委員会で話し合う			
	地歴公民	必要な情報の獲得方法と精査の方法論を獲得する。	従来の書籍や電子機器に加えAIの使用法も考察する			
	数学	数学的に考える資質・能力の育成を目指し、日常生活での問題発見・解決できる能力を習得させる。。	授業で習った数学の内容と日常生活でどう生かされているかを研究・助言する。			
	理科	学習した分野に関係する身の回りの現象を、科学的な視点で捉えられる力を養う。	内容をよく検討し、クラスや生徒に合わせた授業形態指導方法をつくる。			
	保健体育	生徒の健康への関心を高め、怪我や疾病を防ぐ知識をつけさせる。	講習会などで体験させ、実際に活用できる機会を作る。			
	芸術	多様な表現活動を通じて、自己表現力を育む。	グループワークや合奏、作品作りなどで表現する。			
	英語	コミュニケーションを密にする	主体性やディスカッションを重視する			
	家庭	家庭や地域の生活に関わる実践的な知識と技術を習得させる	学習内容をよく吟味し、生活に役立つ知識を教えていく			
	情報	情報を適切かつ効果的に活用できる生徒を育成し、持続可能な社会の構築に参画する態度や能力を養う。	情報の基本的な概念や仕組みを理解させ、実習等において問題解決学習に取り組み、情報リテラシーを身につけさせる。			
	商業	商業分野から現代社会を考え、社会で活躍するための基礎力を養う。	知識だけでなく、将来に生かせる技能を身に付ける。			
	看護	看護臨地実習の充実を図る	地域や保健医療福祉機関などの連携を通じた実践的学習			
	福祉	福祉の意義を理解し、実践しようとする心と行動力を育てる	興味関心を高めさせ、実践することで自尊心を育てる			
未来クエスト	各専攻の特色を生かして社会との接点を持ち、現実の課題に主体的に関わることで、社会に貢献する態度と行動力を育成する。	検定試験で実践的なスキルを身につけ、実習等で探究的な姿勢を養い、主体的・協動的に課題に取り組む姿勢を育成する。				
教務	教える側と教わる側、双方のICT環境を整える	定期的に研修を実施し、スキルの向上を目指す				
総務	学校行事を円滑に行えるように誠之会(PTA)との連携や会計などを誠実に行う	保護者からの質問などに真摯に対応する				
総務(管理)	学校生活の安全を図り、また環境美化に努める。	職員の防災意識・清掃意識向上のための注意喚起・清掃用具の整備管理。				
生徒指導	あそび運動・基準統一	生徒に寄り添い、納得させる指導を心がける。				
進路指導(進学)	目標達成のため、個別指導や校外活動を充実させる。	生徒ひとりひとりに合った対策をする。				
進路指導(就職)	生徒の就職に対する意識を高め、実践的に指導する。	就職課と担任がリンクして、個人面談を繰り返えし、個人に合った指導を行う。				
教育研究	生徒が課題解決のため自発的に取り組む力を養う。	外部と連携を図りながら様々な探究方法を探らせる。				
人権・同和教育	「人権・同和教育＝人の幸せ」を基点に！	日々、お互いの人権意識を高める。				
保健体育	基本的な生活習慣を身に付ける	保健日より、保健LHR、講演会などで意識を高める				
教育相談	充実した高校生活になるためのサポートを行う	しっかりと傾聴することで、生徒の思いに寄り添う教員を目指す				
特別活動	高校生活を送る中で、人間関係をよりよく形成する生徒を育てる。	学校行事の中で、人間関係をよりよく形成する様に啓発する。				
厚生	集団行動を通じて、学校生活や部活動で模範となる生徒を育成する	集団行動で一人一人が「責任」のある行動を行う				
不登校対策	尽誠学園を楽しんでいる生徒を増やす。	家庭と学校が早めに連携をとれるよう努める。				
1年団	安定した生活	早寝・早起き・朝ご飯、整頓、挨拶				
2年団	誰からも愛される2年団 ～ コミュニケーションを豊かにしよう～	困難に立ち向かえる力や考える力をつける				
3年団	自分自身の行いや顔晴りが、誰かの喜びに繋がる生き方を身につけ、卒業を迎える。	『安全で安心』なクラス環境・学校環境を創り、卒業後も人間関係が繋がるような関係性を築いていく。				
衛生看護科	看護臨地実習の充実を図る	地域や保健医療福祉機関などの連携を通じた実践的学習				
特進・進学コース	入試情報を早く入手し、ひとりひとりに合った受験方法で指導する。	全職員で小論文や面接など、入試対策をする。				
アスリートコース	ニュースポーツを体験する。	大学と連携し講師を派遣してもらう。				
アビリティコース	自らの可能性を発見し、他者と協働しながら社会で活躍できる力を身につけさせる。	各専攻の特色を生かした資格の取得や、PBL、キャリア探究活動を通じて、主体性や社会性を身につけさせる。				